



2021年2月10日

各 位

会 社 名	ジャフコ グループ株式会社
代 表 者	取締役社長 豊 貴 伸 一
コード番号	8 5 9 5 東 証 第 一 部
問 合 せ 先	管理部広報担当 緒 方 健 人
T E L	0 5 0 - 3 7 3 4 - 2 0 2 5

### 今後の株主還元についての方針

当社は、2021年2月10日開催の取締役会において、以下のとおり、今後の株主還元についての方針を決定しましたので、お知らせいたします。

#### 1. 当社における自己資金と自己資本について

当社の事業は、未上場企業へ投資を行うファンドの運用であり、当社自身も自己資金をファンド総額の4割程度出資しています。外部出資者から得られるファンドの出資金は、ファンド募集時の経済環境、株式市況、当社ファンドのパフォーマンスに大きく左右されます。当社は、豊富な自己資金によって、継続安定的にファンドを組成してまいりました。また、当社が純投資目的で保有する、株式会社野村総合研究所（以下、「NRI」）株式は、流動性の高い将来の投資のための資産と位置づけ、継続して保有してまいりました。

一定規模以上の自己資金と自己資本の水準を保持することが、リスクマネーの供給という社会的使命を果たし、当社事業の持続性を高めることにつながります。そして、当社が掲げる「新事業の創造にコミットし、ともに未来を切り開く」というミッションの実現、ひいては企業価値向上にも資するものと考えています。

#### 2. NRI 株式の売却収入の使途について

2010年以降、厳選集中投資と「CO-FOUNDER」という方針の下、1社当たり投資金額や保有シェアを高め、投資先への経営関与を深める投資を継続してきました。その結果、ファンドのパフォーマンスは大きく向上し、現預金や自己資本が増加したことにより、財務基盤はより強固なものとなってきました。

また、NRI 株式は、近年、その株価が継続して上昇し、当社のバランスシートに占める比率も高くなっており、2021年1月28日の開示の通り、保有するNRI 株式の約4割（15,500千株）を売却いたしました。そして、その税引後の売却収入に相当する350億円については、自己株式の取得に充当することを本日開催の取締役会で決定しました。詳細につきましては、本日開示しました「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」をご覧ください。

#### 3. 将来のために必要な投資資金および今後の株主還元の考え方

当社では、今後につきましても、いかなる環境においても投資を継続できる財務基盤を維持していくため、現預金とNRI 株式は一体として将来の投資資金と位置付けてまいります。

将来の投資のために必要となる資金は、現在運用中のファンドに対し今後払込が必要な金額（ファンド



未払込金額) や次期ファンドへの当社出資分に加え、将来のファンドサイズ拡大、その他の投資機会や不測の事態への備えとして、現状では1200億円程度と考えています。現預金とNRI株式の時価評価額(税引後)の合計額がこれを一定程度超えることとなった場合には、自己株式の取得を検討することとします。

この場合、株価が1株当たり純資産を下回るときは、より積極的に検討します。また、自己株式を取得した場合には、保有する自己株式が発行済株式数の3%となるよう適宜消却していくことを予定しています。

また、配当金につきましては、2017年3月8日に開示した基本方針(1株当たり株主資本の期首期末の平均値の3%を目途とする。)を継続いたします。

以上